

令和8年度 第1回都島区区政会議 グループでの意見交換

～グループでの意見交換について～

都島区区政会議では、委員の意見交換が活発となるよう、会議中にグループでの意見交換の時間を設けています。
委員のみなさまには、議題（1）令和7年度運営方針の自己評価についてご議論いただきました。

（安全・安心のまち、明日に誇れるまち グループの意見発表）

・防災のまちづくりについて、防災教育で地図が読めない子どもがいること、マンションでエレベーターが停止した場合の対応、共助の担い手不足などが課題であり、区役所としても自助・共助の取組強化に努めていくべきである。 ・防災アプリ等のテクノロジー活用をもっと進めるべきである。
・防犯のまちづくりについて、見守り活動や特殊詐欺対策などを担う人材不足が課題である。また高齢者を狙った特殊詐欺件数も増加している。対策をするために人材・ツール面の強化が必要である。
・防災・防犯の担い手確保の観点から、学校（高校の探究学習等）とも連携し、若い世代を巻き込みながら進めることが効果的ではないか。
・安全で美しいまちづくりについて、大阪市内は全面禁煙となっているが、区内で喫煙所整備が十分に追いついていない。喫煙スペースがしっかりと確保できていないため吸ってはいけないところで吸ってしまう。
・魅力あるまちづくりについて、魅力発信は、専門家やインフルエンサー等も活用した広報連携の強化が有効ではないか。

（人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち グループの意見発表）

・コミュニティ豊かなまちづくりについて、コミュニティ活動の担い手不足が課題である。地域イベント等に「参加したい人」はいるが「担う人がいない」状況があり、企業や学校も巻き込む仕掛けづくりが必要。
・いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりでは、相談は本人より周囲や家族からの方が多く、本人は「支援を必要と感じていない」「頼りたくない」という方が多い。 ・地域福祉コーディネーターの周知が難しく、現時点では口コミにとどまっている。 ・支援の難しさとしては、支援を拒否されるケースも多いため、見守り中心になりやすい点が課題である。
・安心して子育てできるまちづくりについて、子育て支援室への相談件数だけでなく、「どのように子育て支援室にたどり着いたか」という経緯を把握することで、支援を届ける、支援につなげる裾野を広げられるのではないか。
・PTA会長や地域の役員等が地域で相談を受ける場合がある。窓口につながる“一歩手前”の存在が重要であることから、支援窓口情報を共有できる仕組みづくりをしてはどうか。
・安心して子育てできるまちづくりのアウトカム指標「子育て支援室の相談件数」について、目標500件のところ1001件と倍になっている。相談件数が増えていることは良いことだが、「本当に必要な人に支援が届いているか」を把握するには、人と人とのつながりで、どのように窓口につなげていけるかを可視化して進めていくことが必要であり、継続的な課題である。